

■正しい運転操作 エンジンのかけかた

1. キルスイッチが“RUN”になっていることを確認します。
2. フューエルコックレバーを“ON”にします。
3. メインスイッチを“ON”にします。
4. チェンジをニュートラルにします。(ニュートラルランプで確認してください。)
5. チョークノブをいっぱいに引きます。エンジンが暖まっているときは、チョークノブを使用する必要はありません。
6. セルボタン (START ボタン) を押します。エンジンが暖まっているときは、スロットルグリップを $\frac{1}{8}$ から $\frac{1}{4}$ くらい開き、セルボタンを押します。
通常の場合これでエンジンがかかります。(エンジンがかからないときは、45ページ記載の要領で確認してください。)
7. エンジンがかかって30秒くらいたったたら、チョークノブを $\frac{1}{2}$ から $\frac{1}{2}$ 戻し、エンジン回転が2,000~2,500 rpm になるようにして暖機運転を行ないます。
8. チョークノブを全部戻しても、回転がスムーズになるまで暖機運転をしスタートします。

※この車は、セーフティスターター機構を採用していますので、チェンジが入った状態では、エンジンは始動しません。

